

耐久性調査結果表【基準 I】

	氏 名
代表となる調査者	
その他の調査者	

番号	調 査 項 目		判 定 基 準	調 査 結 果	
				適	要是正
1	地盤				
(1)	地盤	地盤沈下等による不陸、傾斜等の状況	建築物周辺に陥没があり、安全性を著しく損ねていること。		
2	建築物の外部				
(1)		基礎の沈下等の状況	地盤沈下に伴う著しいひび割れがあること又は建具開閉等に支障があること。		
(2)		基礎の劣化及び損傷の状況	礎石にずれがあること又はコンクリート面に鉄筋露出若しくは著しいひび割れ、欠陥等があること。		
(3)	土台（木造に限る。）	土台の沈下等の状況	土台にたわみ、傾斜等があること又は建具開閉等に支障があること。		
(4)		土台の劣化及び損傷の状況	木材に著しい腐朽、損傷若しくは虫害があること又は緊結金物に著しい錆、腐食等があること。		
(5)	外 壁	躯体等	木造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	木材に著しい腐朽、損傷若しくは虫害があること又は緊結金物に著しい錆、腐食等があること。	
(7)			組積造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	れんが、石等に割れ、ずれ等があること。	
(8)		補強コンクリートブロック造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	目地モルタルに著しい欠落があること又はブロック積みに変位等があること。		
(9)		鉄骨造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	鋼材に著しい錆、腐食等があること。		
(10)		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の外壁躯体の劣化及び損傷の状況	コンクリート面に鉄筋露出又は著しい白華、ひび割れ、欠損等があること。		
3	屋根				
(1)	屋根	屋根の劣化及び損傷の状況	屋根ふき材に割れがあること又は緊結金物に著しい腐食等があること。		
4	建築物の内部				
(1)	壁の室内に面する部分	躯体等	木造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	木材に著しい腐朽、損傷若しくは虫害があること又は緊結金物に著しい錆、腐食等があること。	
(2)			組積造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	れんが、石等に割れ、ずれ等があること。	
(3)		補強コンクリートブロック造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	目地モルタルに著しい欠落があること又はブロック積みに変位等があること。		
(4)		鉄骨造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	鋼材に著しい錆、腐食等があること。		
(5)		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の壁の室内に面する部分の躯体の劣化及び損傷の状況	コンクリート面に鉄筋露出又は著しい白華、ひび割れ、欠損等があること。		
(7)	床	躯体等	木造の床躯体の劣化及び損傷の状況	木材に著しい腐朽、損傷若しくは虫害があること又は緊結金物に著しい錆、腐食等があること。	
(8)			鉄骨造の床躯体の劣化及び損傷の状況	鋼材に著しい錆、腐食等があること。	
(9)		鉄筋コンクリート造及び鉄骨鉄筋コンクリート造の床躯体の劣化及び損傷の状況	コンクリート面に鉄筋露出又は著しい白華、ひび割れ、欠損等があること。		
特記事項					
番号	調査項目	指摘の具体的内容等	改善策の具体的内容等		

(注意)

- ① 「当該調査に関与した調査者」欄は、調査者について記入してください。
- ② 「調査結果」欄のうち「要是正」欄は、判定基準に該当する場合に○印を記入してください。
- ③ 「特記事項」は、調査の結果、要是正の指摘があった場合のほか、指摘がない場合にあっても特記すべき事項がある場合に、該当する調査項目の番号、調査項目を記入し、「指摘の具体的内容等」欄に指摘又は特記すべき事項の具体的内容を記入するとともに、改善済みの場合及び改善策が明らかになっている場合は「改善策の具体的内容等」欄にその内容を記入してください。
- ④ 要是正とされた調査項目については、要是正とされた部分を撮影した写真及び図面を添付してください。

既存建築物状況報告書【基準Ⅱ】

年 月 日

建築主事 様

建築主 住所
氏名

既存建築物について、検査済証の交付を受けておりませんが、確認申請図書等と相違ないこと及び適切に施工されていることを別添のとおり調査したので報告します。
この報告書は事実と相違ありません。

確認済証 番号	年 月 日 第 号
建築場所	
既存建築物の調査者	() 建築士 () 登録第 号 () 建築士事務所 () 登録第 号 氏名 (電話番号)

※調査者は、別添の調査結果を総合的に判断し、下記の2点についての所見を調査結果総括欄に記入してください。

- ①確認申請図書等と相違ないこと
- ②適切に施工されていること

調査結果総括欄

添付図書等

- 1. 確認済証（旧確認通知書）の写し
- 2. 適切に施工されていることを調査した結果（基準Ⅱ別添）

(木造用)

基準Ⅱ別添

部 位		調 査 内 容	照合を行った 設計図書	調 査 方 法	調 査 結 果	備 考
1 土台	形状等	○配置 ○形状寸法 ○防腐、防蟻措置	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
	接合状況	○基礎に緊結 ○継手・仕口の緊結 ○アンカーボルトの配置	・確認申請図 書 ・()	・目視 ・()	・適 ・要是正	
2 柱	形状等	○配置 ○形状寸法 ○防腐、防蟻措置	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
	接合状況	○通し柱 ○継手・仕口の緊結 ○ボルト締め座金	・確認申請図 書 ・()	・目視 ・()	・適 ・要是正	
3 横 架 材	形状等	○配置 ○形状寸法 ○欠き込みの有無、補強	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
	接合状況	○継手・仕口の緊結 ○ボルト締め座金	・確認申請図 書 ・()	・目視 ・()	・適 ・要是正	
4 筋 か い	形状等	○配置 ○形状寸法 ○材料種別	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
	接合状況	○筋かい端部金物の緊結 ○欠き込みの有無、補強 ○ボルト締め座金	・確認申請図 書 ・()	・目視 ・()	・適 ・要是正	
5 耐 力 壁	形状等	○配置 ○材料種別	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
	接合状況	○釘種類、間隔	・確認申請図 書 ・()	・目視 ・()	・適 ・要是正	
6 基 礎	形状等	○基礎形式() ○配置 ○形状寸法	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
	使用材料	○コンクリート強度 ○配筋調査	・確認申請図 書 ・()	・コア抜き ・鉄筋調査機 ・()	・適 ・要是正	
その他 (火打ち材など)						

(注意)

- ① 調査箇所数としては、各階1箇所以上の調査を行ってください。
- ② 構造上特に重要な部位として、4. 筋かい又は5. 耐力壁の調査は必ず行い、写真、図面を添付してください。
- ③ 要是正とされた調査項目については、要是正とされた部分を撮影した写真及び図面を添付してください。

(鉄骨造用)

基準Ⅱ別添

部 位		調 査 内 容	照合を行った 設計図書	調 査 方 法	調 査 結 果	備 考
1 軸組	平 面	○柱間隔	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
	断 面	○架構形式() ○階高	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
2 各 部 材	柱	○配置 ○部材断面 ○鋼材種別	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
	梁	○配置 ○部材断面 ○鋼材種別	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
	軸組筋違	○配置 ○部材断面 ○鋼材種別	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
3 接 合 部	溶 接	○梁端フランジ接合部の溶接継目 ○現場溶接	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・超音波探傷 ・()	・適 ・要是正	
	ボルト	○スプライスPL形状寸法 ○ボルト種別() ○径・本数	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
	ダイアフラム	○形式(通し・外・内・) ○板厚 ○梁フランジとのずれ	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・超音波探傷 ・()	・適 ・要是正	
4 柱 脚	露出形式	○ベースプレートと柱の溶接部 ○ベースプレートの寸法・板厚 ○アンカーボルトの配置 ○アンカーボルトの径・本数 ○基礎コンクリートの形状	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・超音波探傷 ・()	・適 ・要是正	
	根巻き形式	○根巻き高さ ○かぶり ○配筋	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・鉄筋探査機 ・()	・適 ・要是正	
	埋込み形式	○基礎コンクリートの形状 ○かぶり	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
5 基 礎	形状等	○基礎形式() ○配置 ○形状寸法	・確認申請図 書 ・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
	使用材料	○コンクリート強度 ○配筋調査	・確認申請図 書 ・()	・コア抜き ・鉄筋調査機 ・()	・適 ・要是正	
その他 (横補剛材など)						

(注意)

- ① 調査箇所数としては、各階1箇所以上の調査を行ってください。
- ② 構造上特に重要な部位として、3. 接合部(溶接)及び4. 柱脚(露出形式)の調査は必ず行い、写真及び資料等を添付してください。
- ③ 5 基礎については、1～4までの調査結果が適切な場合は調査可能な範囲で構いません。
- ④ 要是正とされた調査項目については、要是正とされた部分を撮影した写真及び図面を添付してください。

(鉄筋コンクリート造用)

基準Ⅱ別添

部 位		調 査 内 容	照合を行った設計図書	調査方法	調査結果	備考
1 各 部 材	柱	○配置 ○部材断面	・確認申請図書・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
	梁	○配置 ○部材断面	・確認申請図書・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
	耐震壁	○配置 ○壁厚 ○開口位置・大きさ	・確認申請図書・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
2 コ ン ク リ ー ト	柱	○ひび割れ、打設不良 ○圧縮強度	・確認申請図書・()	・目視 ・コア抜き ・シュミットハンマー ・()	・適 ・要是正	
	梁	○ひび割れ、打設不良 ○圧縮強度	・確認申請図書・()	・目視 ・コア抜き ・シュミットハンマー ・()	・適 ・要是正	
	耐震壁	○ひび割れ、打設不良 ○圧縮強度	・確認申請図書・()	・目視 ・コア抜き ・()	・適 ・要是正	
3 鉄 筋	柱	○主筋本数 ○帯筋間隔 ○かぶり	・確認申請図書・()	・はつり出し ・鉄筋調査機 ・()	・適 ・要是正	
	梁	○主筋本数 ○あばら筋間隔 ○かぶり	・確認申請図書・()	・はつり出し ・鉄筋調査機 ・()	・適 ・要是正	
	耐震壁	○縦筋間隔 ○横筋間隔 ○かぶり	・確認申請図書・()	・はつり出し ・鉄筋調査機 ・()	・適 ・要是正	
4 基 礎	形状等	○基礎形式() ○配置 ○形状寸法	・確認申請図書・()	・実測 ・()	・適 ・要是正	
	地中梁	○主筋本数 ○あばら筋間隔 ○かぶり	・確認申請図書・()	・はつり出し ・鉄筋調査機 ・()	・適 ・要是正	
	柱型	○主筋本数 ○帯筋間隔 ○かぶり	・確認申請図書・()	・はつり出し ・鉄筋調査機 ・()	・適 ・要是正	
その他 (スリットなど)						

(注意)

- ① 調査箇所数としては、各階1箇所以上の調査を行ってください。
- ② 構造上特に重要な部位として、柱及び耐震壁の調査は必ず行い、写真及び資料等を添付してください。
- ③ コンクリート強度については、壁、床からコアを採取できる場合は、柱、梁はシュミットハンマーで構いません。
- ④ 4 基礎については、1～3までの調査結果が適切な場合は調査可能な範囲で構いません。
- ⑤ 要是正とされた調査項目については、要是正とされた部分を撮影した写真及び図面を添付してください。